

## 第6分科会 - 1

# 能古島（のこのしま）から介護を変える

人材不足

介護ロボット

ケアの質向上

～眠りSCAN導入を通して～

### 今回の発表の施設 またはサービスの 概要

平成18年10月に福岡市西区の緑豊かな自然と歴史に恵まれた能古島に開設し、現在16年目を迎えた。能古島の素晴らしい環境を最大限に活かし、ご利用者様と一緒に笑顔と生きがいのある生活を作り上げていくことを目標にしたケアを日々行っている。

#### <取り組んだ課題>

現在、介護業界を取り巻く環境は日に日に厳しさを増している。高い高齢化率、生産年齢人口の減少など、ただでさえ深刻さが増している介護人材不足に拍車がかかっている。そのため、我々介護事業所はケアの質を担保するために10年先20年先を見据えた施設運営が求められている。

当施設では平成28年10月に40床の増床を行った。施設規模が大きくなった反面、離島で運営していることも相まって、安定した職員配置やケアの新たな取り組みも困難となり、結果的に質の高いサービスを提供することができない状況となった。

そのような状況の中、平成29年度より将来的な安定運営並びにケアの質向上を目標として様々な取り組みを実施してきた。その中の一つとして、今回発表する眠りSCANの導入が挙げられる。

#### <具体的な取り組み>

(導入前)

##### ①情報収集

平成29年度からICTや介護ロボットに関する外部研修や先進的な取り組みを実施している施設の見学、展示会視察等を繰り返し、情報収集を実施。

##### ②体験実習

平成31年2月、眠りSCANを先駆的に導入されている東京の介護付き有料老人ホームに現場介護スタッフを派遣。眠りSCANを活用した実際の業務を体験し、その有用性を確認。

##### ③目的の共有

眠りSCANを導入する目的と必要性を繰り返し説明し、導入後に期待できる業務改善の効果を共有することに注力。

- ④Wi-Fi工事、設置工事（令和元年7月）
- ⑤操作説明会（令和元年8月）

(導入後)

##### ①導入効果の検証

職員アンケートを実施。

##### ②新しい委員会の設置

継続した効果検証と新たな業務効率化に向けた取り組みを目的として、導入翌年度から新しい委員会を設置。

#### <活動の成果と評価>

- ・巡視等の業務負担軽減が身体的負担の軽減に繋がり、業務全体の効率化が実現。
- ・急変時や事故防止の迅速な対応が可能になることで精神的負担の軽減に繋がり、ケアの質向上が臨める。
- ・介護ロボットの活用で新しい試みに対して前向きになった。
- ・施設課題に対して、ボトムアップで主体的な意見が出るようになった。
- ・ICTや介護ロボットに興味を持ち新たな提案が増えた。

#### <今後の課題>

- ・眠りSCANを活用した新たな業務改善  
⇒まだ機能の全てを活用できていない
- ・データの解析力を育成  
⇒睡眠データの活用が不十分などところがある
- ・ケアプランへの反映  
⇒日中の活動性の向上のため

#### <参考資料など>

特記なし。